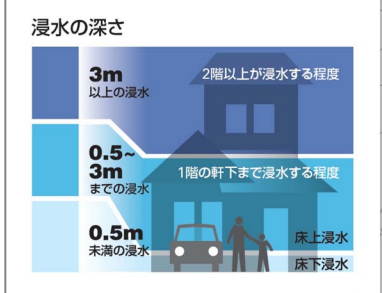


ため池 ハザードマップ

たまがわいけ
玉川池

このマップは、地震によりため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、玉川池が決壊し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

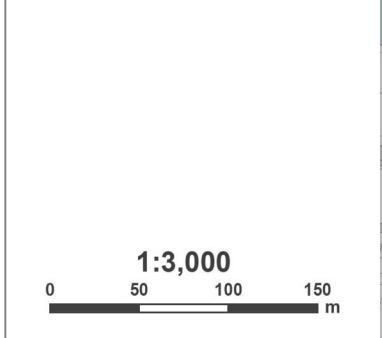


避難経路の安全性

- 特に危険な区域(ため池堤防)
- ひざ上(0.5m以上)が浸水 通行は危険
- ひざ下(0.5m未満)が浸水 通行には注意が必要

凡例

- 避難所 (敷地)
- 警察
- 水部
- 到達時間

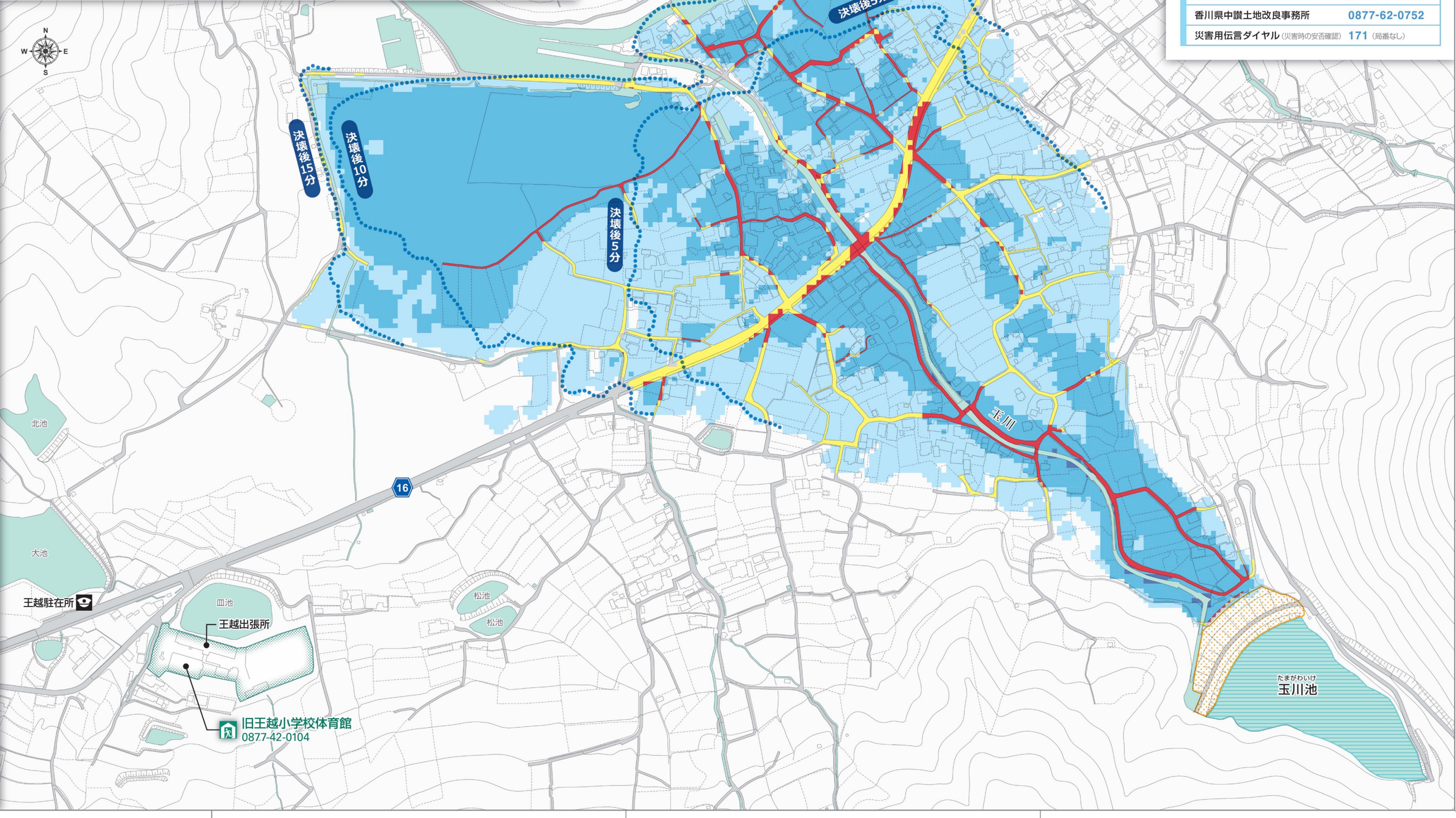


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。
(承認番号 平25情使 第516号)

坂出市 平成 25 年 12 月作成

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

【マップの浸水深】	【浸水の深さ】	【判断】	【どこへ】	【どうやって】
●想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。	3m以上の浸水 ●2階以上が浸水 ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある	必ず 時間と安全な避難経路が確保されていれば	浸水しない場所 (避難所、道路、空き地、高台など) ●安全な場所へ避難する ●水平避難	●歩きやすい服装 ●徒歩で避難 ●お年寄りなどの避難に協力を ●事前に避難先を話し合う
●自分の家で想定される浸水の深さを確認し、避難の方法を考えましょう。	0.5~3m未満の浸水 ●床上浸水 ●1階部分が浸水 ●強い水流の中を歩くことは危険	少なくとも	自宅の2階 危険のない近くの高い建物 ●自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる ●垂直避難	●水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持って上がる ●近所のお年寄りも一緒に
	0.5m未満の浸水 ●床下浸水 ●大人のひざ下程度 ●浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険	必ず	自宅にとどまる ●むやみな移動はかえって危険 ●屋内待避	●こんなときは避難しましょう ・南海地震や直下型地震が発生したら(2~3日後までは警戒が必要) ・集中豪雨、長雨のとき ・避難情報が発表されたら



避難情報の伝達経路

坂出市 → 報道機関 → 坂出市民

- インターネット(市ホームページなど)
- 消防屯所等にあるサイレン吹鳴装置
- 広報車 ●有線放送 ●自治会 ●防災情報メール(※) ●消防団等
- テレビ ●ラジオ

※このメールで避難情報が伝達されるのは登録者のみです。登録は、受信を希望する携帯電話またはパソコンから、<http://info.bousai-kagawa.jp/>へアクセスしてください。登録は無料です。

いざというときの緊急連絡先

警察	事件・事故の通報	110 (局番なし)
消防	火事・救助・救急	119 (局番なし)
坂出市役所	危機監理室	0877-44-5023
坂出警察署		0877-46-0110
坂出市消防署		0877-46-0119
香川県中讃土地改良事務所		0877-62-0752
災害用伝言ダイヤル(災害時の安否確認)		171 (局番なし)